

全国戦没者追悼式



全国戦没者追悼式

令和元年 8 月 15 日、日本武道館に於いて、天皇皇后両陛下ご臨席のもと全国戦没者追悼式が挙行されました国歌斉唱で始まり、内閣総理大臣の式辞があり正午の時報にあわせ一同黙祷を行う。

その後、天皇陛下のおことばがあり、つづいて衆議院議長、参議院議長、最高裁判所長官、遺族代表の追悼の辞が述べられました。ここで天皇皇后両陛下がご退席になられる。

その後、内閣総理大臣、遺族代表、青少年代表、来賓、地方公共団体代表、最後に厚生労働大臣が献花をして式典は滞りなく終了いたしました。

74 年前の 8 月 15 日はジリジリと照る暑い暑い日であった。

学校の帰り道、玉音放送により戦争が終わった事を知る。

この度戦後 74 年にして初めて式典に参列させて頂きましたが「感無量」の一言につきました。

出来得ることならば母を参列させてほしかったと思いながらを胸に!! (その母も逝きて 23 年になりました)

この大戦で命を落とし生きて帰れなかった将兵、三百万とも三百五十万とも。

国破れるを知らず疎開して食料増産に、出征兵士の農家への手伝いと過ごした小学六年生の頃を思い出す。

8 月 15 日を前に最近の私はよく、永六輔作詞の「戦争が終わった日」を口ずさみながら

「帰って来ない人達のあの声それを歌い伝えたい」を囁みしめながら、決して忘れてはならない人の命を大事に大切にできなかったあの戦争を私は憎む。

マーシャル方面遺族会 佐藤知子